

現地でしか出会えない人と景色と経験は 貴重なものでした！

工学部 材料工学科 2年 後藤真由美さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先： イギリス・UL

英語が大事と言われる現代社会で、英語を勉強しなくてはと日々思いつつ、なかなか実践できないでいました。何か英語への抵抗感を減らし、興味をもつきっかけになればと思い留学プログラムに申し込みました。リヴァプール大学を選んだ理由は、一か月のプログラムであることと、本場の英語に触れたかったからです。また、本校のプログラムは事前のオリエンテーションや現地でのサポートなどが充実していて、安心して生活出来ました。

授業には日本人の他にも、韓国人、トルコ人、サウジアラビア人の方がいてとても驚きました。日本での日常生活ではほとんど会うことの出来ない国の方々だったからです。そんなクラスメイトたちと受ける授業はとても新鮮でした。最初はコミュニケーションが難しかったですが、徐々にお互いの英語や考えを理解できるようになりました。授業は文法を英語で学んだり、ディスカッションをしたりと実のあるものでした。先生はとても優しく、常にサポートしてくださいました。先生の英語は二週間目からはほとんど理解できるくらいわかりやすかったです。リヴァプール大学は施設やプログラムが充実していて、24時間の図書館はとてもいい環境でした。プログラムで最も良かったのは、ウェールズの観光です。あの景色は忘れることができないくらい素敵でした。日常生活では、芝浦の学生と韓国人の学生のルームシェアでした。共同生活は難しい面もありましたが、それ以上に楽しさがありました。振る舞ってくれた韓国料理はとても美味しかったです。日本人のルームメイトとは初対面でしたが、とても仲良くなり、観光やショッピングは楽しくて充実していました。

今回の留学では数えきれない程たくさんのことを学びました。そしてそれは留学に来ないと気がつかないものばかりでした。英語力はまだまだですが、抵抗感は減り、英語を勉強したくなりました。この留学でしか見れなかった景色、出会い、環境、自分は貴重であり、この先の生活に大きく影響すると思います。この宝物を無駄にしないようにしたいです。



憧れだったイギリスでの生活をENJOY!!!
英語のスキルを向上できました。

システム理工学部
環境システム学科 1年 沢口葉月さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先： イギリス・UL

イギリスへ行ってみたい！という強いあこがれがあり、このプログラムを選びました。留学を決意したのは、どれほど日本で英語を勉強したとしても、英語のスキルを伸ばすのには限界があり、実際に英語圏の国に行って英語を学んでこそ、自分のスキルアップを図ることができると思ったからです。また、長期休みを通して、自分にとって大きな経験がしたい！と思ったのも理由の一つでした。

大学での授業は、レベル別にクラス分けされ、午前3時間、午後1時間半の授業がありました。午前の授業では、リスニングや文法、スピーキングなど、幅広い方向から総合的に学習し、午後の授業はイギリスの歴史や社会問題、またEU離脱についてのディベートなどもしました。クラスは、サウジアラビア、トルコ、クウェート、ポーランド、韓国など、様々な国の人が入り、非常にグローバルなクラスでした。お互いの文化を知ることができ、友達も増えました。その友達とは、今でもSNSで連絡を取り合っています。週末には、ロンドンや湖水地方、ウェールズ、ヨークなど、いろいろなところに観光に行き、美しい建築物や景色を見ることができ、毎日が充実していました。

私は、最初の一週間全然授業についていくことができませんでした。他国の人はずごく積極的でそのペースにただただ圧倒されるばかりで、日本に早く帰りたいと思うこともありました。でも、クラスメイトはとても優しく、分からない時いつも助けてくれました。日を重ねる毎に少しずつ英語が聞こえるようになっていって、だんだんと授業が楽しくなりました。気づけば一ヶ月はあっという間に過ぎていたので、このプログラムが充実していたという証拠だと思います。このプログラムを通して、たくさんの異国の友達や学科・学年を超えた友達が増え、とても楽しかったです。また、自分の英語のスキルを向上することができたと思います。しかし、もっともっと英語が話せるようになりたい、自分はまだまだだという気持ちも同時に芽生えました。これからの大学生活でより一層英語の勉強に力を入れたいと強く思いました。美しきリヴァプールの街で過ごした一ヶ月、今までの人生の中で一番濃くて充実した楽しい時間でした！



イギリスの文化に包まれながら
様々な国の価値観も学ぶことができました。
英語力向上も凄く実感できた
充実した1カ月間でした。

工学部 機械工学科2年 平井華月さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先： イギリス・UL

今自分が将来取り組みたいと思う仕事は海外の人たちとの協力が不可欠だと考えています。そのため、自分の時間が作りやすい大学在学中に様々な機会を利用しながら英語学習を進めるべきだと思っていました。以前参加したことのある語学研修は2週間のものだったので今回4週間でクイーンズイングリッシュが学べるであろうイギリスのリヴァプール大学(UL)の研修に参加しました。

ULでは芝浦の学生だけでなく、日本からの他の大学の語学研修生や海外の英語を学びに来た人たちと一緒に授業を受けました。初日に行われたテストの結果から習熟度別に午前・午後のクラスを決められました。私のいた午前授業のグループはIELTS受験に備えている人や長期滞在の人がほとんどで、彼らの授業中やディスカッションでの発言の質の高さにとっても刺激を受けました。また授業で扱うトピックも日本ではあまり扱われないような政治や司法に関するものが多く、海外で改めて日本の内情について考える機会を得ることができました。午後の授業ではUKの文化や歴史についてディスカッションやペアワークを通して学びました。午前と午後で異なったグループ編成だったため、それぞれで様々な価値観を持った人々と交流を持つことができ、毎日素晴らしい経験をすることができました。

今回この研修に参加して、芝浦の他学部・他学科の学生とも交流を持ちこのような場でしか巡り合えなかったであろう人々との交友関係が広がりました。また英語学習へのモチベーション向上を強く感じています。この研修を通して日本にいるときも常日頃から英語に触れ、話す環境を自ら作っていかうと強く思うようになりました。今後は3年生になるので海外インターンなども体験してみたいと考えています。



いろいろな国の友人ができ、
英語に対する考え方が変わりました。

システム理工学部 生命科学科 2年
吉安広大さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否：可・不可

派遣先：イギリス・UL

プログラムに参加した理由は3つあります。

- 1つ目は英語力を向上させたい。
- 2つ目は海外に行ってみたい。
- 3つ目は英語に対する考え方を変えたい。

滞在期間中は月曜日から金曜日は9時半から90分の授業が2回あり、加えて月曜日から木曜日は午後に90分の授業が1回あります。私のクラスは主にスピーキングに重点を置くクラスでした。日本にいる時はこんなにもアクティブにスピーキングをする機会がなかったので、最初は戸惑いましたが慣れました。また、教室にはトルコ、韓国、サウジアラビア、日本の学生がいましたが他の国の人はかなり積極的に発言しており、日本人のスピーキング力の無さを実感しました。しかし文法や語彙力、ライティングは負けていないことが分かったことも収穫の一つです。自分はスピーキング力を向上させるために工夫をしました。例えば一つの問題に対してペアで議論するときに、相手の意見に賛成せず、なぜ？と理由を聞いたり、逆の意見を言ったりすることで会話を途切れさせないように意識しました。また、授業中に積極的に発言するように意識しました。そういうわけで、この1ヶ月で自分の不足していたスピーキング力は、少しではありますが改善されたと感じます。さらに人間関係が、かなり広がり日本人以外の友達を始めて作ることができました。英語に対する考え方も変わりコミュニケーションのツールであると思えるようになりました。

今回のプログラムで普段経験することのできないことを多く体験することができ、かなり充実した1ヶ月となりました。



一ヶ月でリスニング、スピーキング
スキルを伸ばせました！
英語の学習の仕方でも学びました。

システム理工学部
生命科学科 2年 茂福亮太さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先： 英国 UL

ミュージカルの2大巨頭といえば、ロンドンのウエストエンド、ニューヨークのブロードウェイがよく知られており、前々からイギリスに行ってみたいという気持ちがありました。また、4週間英語に触れるということは私にとって大きな刺激になると考えました。また、寮生活ということもあり、好きなときに好きなことができるのは実家暮らしの私にとって魅力的でした。

平日は午前90分×2、午後90分の授業でした。サウジアラビア、トルコ、韓国のクラスメイトがおり、文化交流も授業内容の一部でした。日本の文化や日本人は普段考えないことを英語にする機会がありました。また、各国、英語の訛りがあり、サウジアラビア、トルコのクラスメイトと会話をするのが難しく感じました。寮には韓国人がおり、共同スペースでは英語で会話、パーティーをよくしました。放課後はリヴァプール観光、休日はロンドンやチェスターなどの観光が主でした。

このプログラムでは貴重な経験をすることができました。私のクラスの先生は、英語を伸ばすには、リスニングとスピーキングが一番重要だとおっしゃっていました。日本の英語教育では、文法、単語が主になっており、実際、この二つを勉強することでテストで良い点が取れるということを経験していました。この成功経験が邪魔してリスニングとスピーキングの勉強を遠ざけていました。文法や単語の勉強をしていないにもかかわらず、2週間を過ぎたあたりから英語スキルが伸びていくことが分かりました。これは、日々のリスニングとスピーキングが関係していると感じました。また、寮にいた韓国人との交流がとても良い経験でした。寮に帰れば英語を話すことが減るが韓国人の友達がいることで寮でも英語を話す機会がありました。インスタグラムやLINEを交換し、日本に帰った今でも交流があります。



本場で英語の勉強ができました！
授業も含めて、物足りないくらい
充実した一ヶ月でした。

工学部 材料工学科 1年
和田竜馬さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先： イギリス・UL

正直不安しかなくて募集期間の最終日まで悩みましたが、英語の本場で勉強できる機会なんて二度とないかもしれないし、TOEICの勉強にも意欲的になれるはず、なにより成績はほとんど関係なく語学研修ができるのは芝浦生の特権と思いました。また、このプログラムは午前2コマ、午後1コマの授業でしっかり英語が学べるので英語力を鍛えるにはもってこいでした。

授業初日にテストを行いクラス分けをしました。自分のクラスでは基本的に午前にはボキャブラリーやディスカッションでたまにプレゼンテーションを行い、午後は日常生活のための会話の勉強を行いました。クラスが分かれているので難しすぎるということはなく、100%英語で話すのも最初は戸惑いましたがだんだん慣れてきて相手に意見が通じるのが嬉しくなっていました。またクラスには各国から色々な職業の人が英語を学びに来ていて、その人たちに自分の学科を説明する中で自分が将来やりたいことを考えるきっかけにもなりました。休みの日は街を見て回ったり、ロンドンなどを観光してみたりなど、その国の文化に触れることもできました。海外に行くことについては、治安面で心配な方もいると思いますが、貴重品の管理を怠らなければ普通に大丈夫だったし、電車のホームがわからないと現地の人に聞いたら笑顔でおしえてくれたりなど温かい人が多かったです。

一ヶ月は長いように思いましたが、少し物足りないくらいあっという間に過ぎました。また、一緒に学んだ他国の人と話して英語力の向上はもちろんですが、いろんな文化を知って世界観が広がった気がします。まだ、一年で来年もあるため、次は他の国に行くのもありだと思いました。想像の倍以上は楽しかったです。



色々な国の友達ができ
嬉しかったです！

デザイン工学部 デザイン工学科2年
新倉旭さん

参加プログラム

語学研修

グローバルPBL

海外インターンシップ

交換留学プログラム

■公開可否： 可 ・ 不可

派遣先：イギリス・UL

芝浦工業大学は海外に行くチャンスがたくさん用意されていたのでせっかくなら行ってみようと思いこのプログラムに参加しました。ULは1か月のプログラムの中で一番費用が安かったことと、自分はずっとサッカーをやっていたのでサッカー発祥の地であるイギリスということで選びました。

平日は9時半から90分2コマ、昼休憩をはさんで午後1コマ授業で、全体的にスピーキング等の英語を使う力を伸ばすのを目的とした内容でした。休みの日には観光をしたり、学校が用意してくださっていた体験プログラムに参加したりして充実した時間を過ごせました。

最初のうちは英語で話すことに緊張していてなかなかコミュニケーションに苦労しましたが、先生やクラスメイトがみんな優しく面白くて、1週間か2週間くらいで日常会話くらいは簡単にできるようになりました。英語をしゃべる機会が日本ではあまりないので実際に使ってみてわかることがたくさんあり、とても勉強になりました。向こうでできた友達と今も時々連絡を取っていて、次会うのが楽しみです。